

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	東日本大震災では予想以上の被害があった。震災当日の停電は予想もなかったことで、対応策に苦慮した。今後夏に予定されている計画停電も含め、災害時のマニュアルの見直しと整備に取り組まなければならない。	今年度、夜間を想定した避難訓練を実施するとともに、災害時のマニュアルの見直しと整備を実施する。また、例年参加している町内会の防災訓練にも参加し、地域との協力体制を構築していく。	4月25日に消防用設備等点検日に合わせ、第1回の夜間を想定した避難訓練を実施した。今回の反省点を踏まえ、秋には、消防署立会いの下、第2回目の夜間を想定した避難訓練を実施予定。マニュアルの整備についてはインターネット等で調べ、当ホームに合ったマニュアルを作成していく。	8ヶ月
2	4	認知症の進行が顕著な入居者が多いため、会議形式の運営推進会議に入居者を出席させることは難しい。だが、多くのご家族に出席をお願いして、ホームの運営に関心を深めていただるように考えていく。	入居者には食事会や納涼祭のようなみんなで楽しめる企画に全員で参加できるよう計画する。ご家族には、都合がつく時はなるべく参加していただけるようお願いをする。会議形式は2回とし、あとは講演会、レクリエーション等を企画予定。スタッフ、入居者、ご家族、地域関係者が交流する「場」として気軽集える雰囲気にしていきたい。	5月1日に今年度第1回運営推進会議を創立記念祭という形で実施する。その際にご家族には運営推進会議の趣旨を説明する。また、テーマについても意見をだしていただく。	12ヶ月
3	2	入居者の息子さんで保育園を経営している方がおります。慰問を前向きにご検討いただきましたが、保育園児の送迎の際はチャイルドシートの使用が義務付けられており、チャイルドシートが完備された車を用意することはできません。そうなりますと、幼児との交流は難しいかもしれません。	小学生、中学生は徒歩や自転車での訪問が可能。そこで、学童保育の児童に慰問していただいたり、夏休みに実施されます中学生のお仕事体験に登録して来訪していただくことを検討しております。	現在、秩父第一中学校にお仕事体験受け入れ事業所として登録を申請中。また、近くの学童保育所にも声をかけております。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。